

『デジタルアーカイブ新戦略』

～ 産学官連携の成果と今後の展開に向けて～



2005年1月20日

「産学官連携コーディネーター全国会議in九州」

京都市観光政策監
清水宏一

プロフィール

清水 宏一 (しみず ひろかず)

- ⌘ 京都市 観光政策監
- ⌘ 59歳。京都市出身。京都大学法学部卒。
- ⌘ 関西ベンチャー学会、情報処理学会。
- ⌘ '97年 総合企画局情報化推進室長
- ⌘ '00年 産業観光局理事
- ⌘ 京都デジタルアーカイブ研究センター副所長、アステム専務理事などを兼職。
- ⌘ '04年観光政策監
- ⌘ 京都市で高度情報化の取り組みを主導し、イントラネット、デジタルアーカイブによる
- ⌘ 地域情報化を戦略化してきた。
- ⌘ 著書に「コンテンツ流通教科書」共著)アスキー、ほか



デジタルアーカイブの展開

◆ 文化遺伝子のデジタル保存（ためる）

歴史、建造物、彫刻、文化、文芸、芸術、芸能、
学術、自然、風物、風俗、産業、人物、食生活、
気質、時代のいろ、匂い、雰囲気、空気

◆ 知的資産のネットワーク化（つなぐ）

人類共有の知的資産として情報発信

◆ アーカイブ資産の展開と活用（いかす）

知的財産権として管理し、展開と活用

二条城デジタルアーカイブ

- ◆ 文化財の保存と継承 (記録する)
- ◆ 襖絵のレプリカの制作 (展示する)
- ◆ もしかの場合への備え (バックアップ)
- ◆ ミュージアムグッズの制作 (販売する)
- ◆ デジタル画像の活用 (新商品開発)

文化財の修復・管理費用の捻出

デジタルアーカイブの模範例づくり

デジタルアーカイブの商業化

- ◆ コンテンツ、著作権で儲ける
儲かるコンテンツとベンチャーを見いだす
- ◆ ディファクトスタンダードで儲ける
数の力で日本と世界を圧倒する
- ◆ ブランディングで儲ける
質の良さ、有名さで圧倒する
- ◆ 観光で儲ける
宣伝と仕掛け、ブームで儲ける

新しいブランドの構築

- ◆ **認知度** いかにより多くの人が知っているか
- ◆ **浸透度** 何がイメージできるか
- ◆ **人気度** 他と差別できるものがあるか
- ◆ 大事なものは「**悉皆（しっかい）**」
 - ◆ コーディネーター、プロデューサー
 - ◆ 目利き、人脈、センス
 - ◆ しつらい、みやび、わびさび
 - ◆ 格式、こだわり、えこひいき

ライフスタイルが変わる

◆ 生活の目標が変わる

H A V E ing

D O ing

B E ing

◆ 世界観、人生観が変わる

スローフード、スローライフ、エッジシティ

◆ ニューリッチな生き方

L O H A S (Lifestyle of Health and Sustainability)

B O B O S (B O B O S in paradise) D.ブルックス

◆ こだわりの生き方

しつらい、みやび、わびさび、格式

デジタルの環境が変わる

◆ コンピュータ・システムの変化

レガシー ネットワーク

◆ ITからICTへ

PDA ウェアラブル インティメイト

◆ ユビキタス社会へ

e- から u- へ、グリッド、オープンソース
無線（無銭）LAN、どこカルネット
ICカード、おさいふケータイ
デジカメ、QRコード

デジタルで世の中が変わる

- ◆ **電子政府、電子自治体**
行政改革、国家と地方 地域と中央
- ◆ **大学の大変革、 T 大学**
法人化、大学統合、放送大学、V R 大学
- ◆ **電子図書館とWEBアーカイブ**
青空文庫、電子メディア、ホームページ保存
- ◆ **生涯学習、ライフスタイルの変化**
文化遺産オンライン、NHKアーカイブス

国家戦略が変わる

◆ コンテンツ、知的財産戦略

デジタル放送、アニメーション、エンターティメント

◆ 新ブランド戦略

クールジャパン（ファン、有印優品、世界ブランド）

◆ 観光立国戦略

観光ポータルサイト、海外宣伝、産業観光

◆ 伝統知戦略

伝統知と科学技術の融合

デジタルアーカイブの未来環境

◆ 知的財産としての著作権

特許、意匠 著作権、デジタル化権

◆ 電子政府・電子自治体のコンテンツ

地域と中央の存在意義

◆ 安全保障・危機管理

分散管理（クローン）、セキュリティ

◆ ICT人材（デジタルソムリエ）育成

- ・ ビジネス ベンチャーからコミュニティへ
- ・ フード ファストからスロー